

# 住宅火災が発生しました

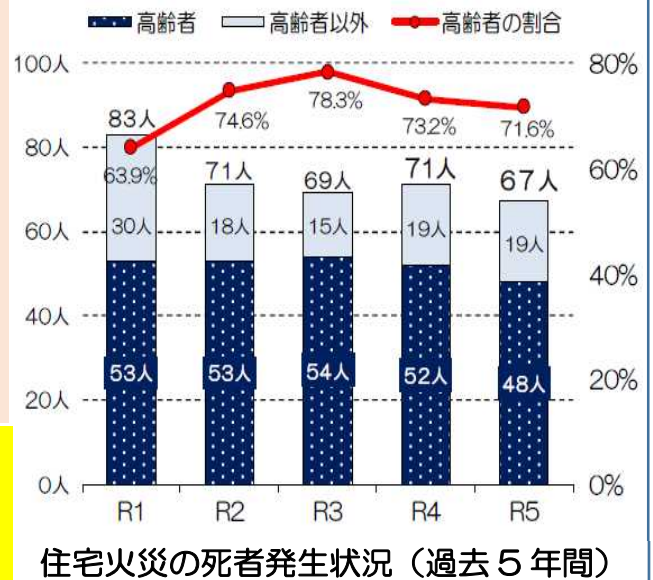
令和5年12月23日に、芝消防署管内で住宅火災により死者が発生しました。また、乾燥する日が続き、全国で火災が多発しています。

火災を防ぐには、地域の皆様の日頃からの心掛けとご協力が必要です。もう一度、身の回りの防火について考え、火災を未然に防ぎましょう。

## 令和5年中の住宅火災による死者発生状況（※東京消防庁管内）

### ●住宅火災による死者数と出火原因

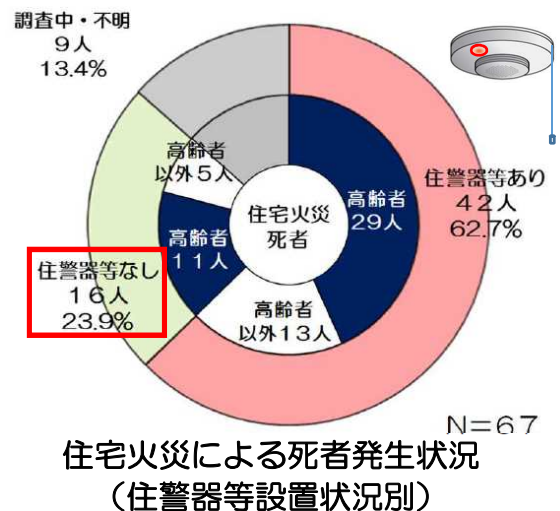
- 住宅火災による死者は67人（住宅火災以外を含めると87人）発生している。
- 高齢者（65歳以上）が48人で、住宅火災による死者の約7割を占めている。
- 死者が発生した住宅火災の出火原因の内訳は、『たばこ』、『ストーブ』、『こんろ』の順に多い。



消防職員と地域住民との連携が必要です。  
防火防災診断・防火防災訓練へのご協力をお願いします。

### ●住警器等設置状況別の住宅火災による死者

- 東京消防庁管内における住警器等の設置率は約9割を占めている。
- 住宅火災による死者67人中、住警器等の未設置住宅における死者は16人で、約2割を占めている。



住警器の設置は義務化されています。  
全ての居室、台所、階段に設置しましょう。  
適切な維持管理もお願いします。

※ 住警器（住宅用火災警報器）とは、火災により発生する煙や熱を感知し、警報音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。